

第4学年 国語科学習指導案

日時 平成16年10月15日(金)5校時
児童 4年 男10名 女5名 計15名
授業者 教諭 佐藤 博

1 単元名 場面をくらべて読もう(光村 四下)

2 教材名 「一つの花」(今西 祐行)

3 単元について

(1) 教材について

本単元では、戦争中と戦争後の場面をくらべて読み、戦争を体験した人の思いや願いを考えると、心に残った場面や内容について自分の考えをまとめ、一人一人の感じ方に違いがあることに気づくことをねらいとしている。

本教材は、戦争中から戦後にかけて、時代が大きく移り変わるなかで、懸命に生きるゆみ子の家族の姿が描かれている。戦争の状況が変化していくのに応じて、ゆみ子を見守る両親の深い愛情が、美しくも悲しく、繰り返し描かれ、戦後のささやかであるが幸せそうな母と子の生活の様子が、まるで俯瞰図を見ているかのように描写されるという構造になっているので、戦争という過酷な状況に置かれながらも、その中で生き続ける人間の強さと美しさ、そして、平和の尊さ戦争の残酷さなどについて考えを深めさせることができるものである。場面をくらべて読むことは、必ずしも当時の時代背景を正確に把握しなければならないというわけではないが、別紙資料で時代背景を簡略に説明する必要はあると思われる。本教材に一貫して流れているものは、ゆみ子に対する両親の愛情であり、非人間的な戦争の中にあっても美しいものに心動かされる子どもであってほしいという親の願いである。淡々とした抑えた語り口の文体は、場面の様子や人物の気持ちを豊かに想像させるのにふさわしい。また、戦争中と戦後の二つの場面の比較を通して、様子や情景、心情の違いを読み取ることにより、全体と部分を関連付けて読む力を育てるのに適していると考えられる。

(2) 児童について

児童は、これまでに「三つのお願い」や「白いぼうし」で、場面の移り変わりや情景を想像しながら読むことを学習してきた。

「三つのお願い」では、それぞれの願いが実現したときの様子を、叙述をもとに想像しながら読み、また好きな場面を選んで、聞き手に語りかけるつもりで音読する活動を繰り返し、「白いぼうし」では、単元の構成は、「シリーズ作品に興味をもつ」ということを中心に、より豊かな読書生活へのいざないを目的としたものになっているが、今回の単元につなげるために、学習の展開を作品の内容に一步踏み込んだものにしてきた。

これらの学習を通して、場面の様子や登場人物の気持ちを自分なりにとらえ、音読に生かしたり、友だちの音読を聞いて、感想を持ったりするという態度は育ってきている。

しかし、言葉の働きやつながりを考えながら、人物の気持ちを読み取ったり情景を豊かに想像したりする力は十分ではない。また、自分なりの感じ方や考え方に自信が持てないため、多様な感想が出にくく、登場人物の言動に共感をもって読み進める態度も弱いところが見受けられる。

(3) 指導にあたって

第3学年および第4学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。

そこで、指導にあたっては、全体を五つの場面に分け、場面ごとに学習課題を立て音読や視写などを取り入れながら、場面の様子や人物の気持ちを、叙述を手がかりにしながら想像豊かに読み取らせていきたい。特に、「一つだけ」とおにぎりをねだるゆみ子に、「一つだけ」のコスモスの花を与えるお父さんの気持ちを思いやってみることが、作品の主題に迫ることになるので、視写や音読をさせながら、人物への感想を引き出していきたい。

そこで、書く活動では、単位時間の学習の山場、またはそれにいたる重要な部分を視写させ、叙述に即して分かったこと、思ったこと、考えたこと、疑問などを行間に記号や言葉で書き込めるようにさせたい。

また、書いたことを生かした話し合い活動では、話し合いの内容が文章の叙述に根拠があるのは当然であるが、個の読みを前提にし、自分なりの考えを明確に持たせると同時に、友だちの意見をよく聞き取り、考えを認め合うような集団思考によって、読みをより深く、より豊かなものにする意欲的な学習に取り組むようにさせたい。

4 単元の目標

場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに想像しながら読み、場面の様子がよく分かるように声に出して読む。

5 単元の評価規準

【関心・意欲・態度】

- ・場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに想像しながら読み、進んで感想を話し合ったり文に書いたりしようとする。

【書くこと】

- ・戦争中の暮らしについて調べ、分かったことや作品を読んだ感想を、文章にまとめる。

【読むこと】

- ・場面の移り変わりや情景を叙述に即して豊かに想像しながら読む
- ・読み取った人物の心情や場面の様子がよく分かるように声に出して読む。

【言語事項】

- ・題名や作品のかぎになる言葉に注目し、作品全体との関わりを考える。

6 指導計画（15時間）

指導過程	目標（ ）と学習内容	評 価				評 価 方 法
		関 心 意 欲	書 く こ と	読 む こ と	言 語 事 項	
つ か む 4	戦争について話し合い、理解を深める。	○		○		
	全文を通読し、学習計画を立てる。 全文を通読し、初発の感想を書く。	○				ノート
	初発の感想を交流し、学習のめあてを決め、学習計画を立てる。	○				発言
	新出漢字や語句の学習をする。	○				ノート
ふ か め る 7	場面の様子を想像しながら読む。 ゆみ子が「一つだけちょうだい」という言葉を最初に覚えたわけを考え、戦争の激しかったころの暮らしぶりを読み取る。	○		○	○	発言 書き込み ノート 自己評価
	ゆみ子の将来を案じるお父さんとお母さんの切ない思いを読み取る。	○		○		
	戦争に行くお父さんを見送ろうとするお母さんの気持ちと、周囲の様子を読み取る。	○		○		
	一つの花を見つめながら戦争に行ったお父さんの気持ちを読み取る。（本時）	○		○	○	
	十年後のゆみ子とお母さんの暮らしぶりやミシンを踏むお母さんの気持ちを読み取る。	○		○		
	「一つの花」という題名について話し合い、感想文を書き、発表し合う。	○		○	○	
	今の自分たちの暮らしと比べて気づいたことや疑問に思ったことを書く。					
ま と め る 4	学習のまとめをする。 戦争中の暮らしについて調べる。（2時間）	○				観察 作品
	調べて分かったことを、感想とともに書いてまとめる。	○				
	まとめたことを発表し、よい表現を確認し合う。	○				

7 本時の指導

(1) 目標

一輪のコスモスをゆみ子に渡して、汽車に乗って行ってしまったお父さんの心情を読み取ることができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	支援(・)と評価()
つ か む 5分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習場面と学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 一つの花を見つめながら行ってしまったお父さんの気持ちを考えよう。 </div>	・前の時間の学習のまとめを発表させる。(く) ○学習課題を把握し、学習の見通しを持つことができたか。(関心・意欲・態度)
ふ か め る 30分	3 学習場面を音読する。 ・指名読み(P 9 L 1 2 ~ P 1 2 L 1) 4 一人学びをする。 ・お父さんの行動をすべて書き出し、それらの文から気が付いたことを簡単にまとめる。 ~ ぷいといなくなりました。 ~ 何も言わずに汽車に乗って行ってしまいました。 ~ 一つの花を見つめながら 。 5 学び合いをする。 ・上記の三つの文から、お父さんの行動からお父さんの気持ちを発表し、友達の考えと比べ、課題のまとめをする。	・会話文の読み方を工夫させながら読ませる。 ・お父さんの行動が表れている箇所にサイドラインを引かせる。 ・お父さんの行動からお父さんの気持ちを考えさせる。 ○普段と違うお父さんの主な三つの行動を探し、気が付いたことを簡単に書くことができたか。(読む)
ま と め る 10分	6 学習のまとめをする。 ・まとめの音読をする。 7 自己評価をする。	・話し合ったこと、特に、お父さんの様子を思い浮かべながら読ませる。 お父さんの様子を思い浮かべながら気持ちを込めて音読することができたか。(読む) ・ふりかえりカードで自己評価させ、達成感や次時への意欲を持たせる。

(3) 具体の評価基準

十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	努力を要する児童への支援
「一つだけ」という言葉に着目することで、お父さんの特別な思いが込められていることを考える。	「一つだけ」という言葉に着目することで、お父さんの気持ちを考える。	「一つだけ」という言葉から、お父さんの気持ちを考えるようにアドバイスをする。

(4) 板書計画

一つの花

一つの花を見つめながら行ってしまったお父さんの気持ちを考えよう。

もう時間がない
与える何物もない中で
せめても父の心づくし

あわてて帰ってきたお父さんの
手には一輪のコスモスの花がありました。

- ・ プラットホームのはしっぱ
- ・ コミすて場の様な所
- ・ わすれられたようにさいていた

ゆみ子、笑っておくれ
強く、美しいコスモスの花にたくす父の願い
ゆみ子は、花をもらって喜んだ

「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだよ。」

にっこり うれしい
食べ物以外にも興味を示したゆみ子の喜び
笑顔を見て満足だ
ゆみ子を泣かせたくない
つらくて言えない

お父さんは、それを見てにっこり笑うと、何も言わずに、
汽車に乗って行ってしまいました。

一つの花を大切にしていね

ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながら
。

まとめ
一輪のコスモスの花に喜ぶゆみ子に安心し、この花のように強く優しく育ってほしいと願いながら戦争に行かなければならないやるせないお父さんの気持ち